

# 4年生

教科	成果	課題	重点取り組み
<p style="text-align: center; font-size: 2em;">国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語や説明文などを読んで、自分の気付いたことや感じたことを発表すること、友達と意見を交流することに積極的な児童が多い。</li> <li>・読書をするのが好きな児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい漢字や言葉の習得が不十分である児童が見られる。</li> <li>◎目的を明確にした上で、段落の構成に注意しながら、指定された長さで文章を書くこと。</li> <li>・話の中心を意識しながら聞き取ること。</li> <li>・発表するときに、聞き手に伝わるよう要点をしばって話すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の単元を学習する際に、初め・中・終わりの段落構成をしっかりとさえる。</li> <li>・伝えたい事柄の中心を明確にし、文の三段構成を考えて書くように指導する。</li> </ul>
<p style="text-align: center; font-size: 2em;">算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな数、小数など、十進位取り記数法のしくみが概ね理解できている。</li> <li>・整数の四則計算の技能が定着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正三角形や二等辺三角形の性質の理解が不十分である。</li> <li>◎文章題を読んでその意味を正しく捉え、根拠をもって立式をすることが苦手な児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の学習では、正三角形、二等辺三角形など、対象とする図形だけを扱うのではなく、それ以外の図形との違いに着目させることで性質の理解に繋げる。</li> <li>・日常的に、図や数直線などを積極的に活用し、立式の手がかりにする。</li> </ul>
<p style="text-align: center; font-size: 2em;">社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身近な地域と生活とを結び付けて考えることができる。</li> <li>・学習で得た知識を用いて、問題に答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎社会的事象から自分で課題を発見し、学習に取り組もうとする意欲がやや低い。</li> <li>・複数の資料を読み取り、内容を比較したり関連付けたりして考えることが苦手な児童がいる。また、それをもとに推論をたてることや自分の考えをもったりすることにやや消極的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教材の開発や生活に結び付けて考えられるような資料提示を工夫する。</li> <li>・日常生活の中から学習課題を見付け意欲的に解決していけるよう発問や活動を工夫する。</li> <li>・表やグラフ、資料を丁寧に読み取りそこから分かることを伝え合う活動を多く取り入れる。</li> </ul>

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察に対して、興味・関心をもって取り組むことができる。</li> <li>・実験の経験を重ねることで、基本的な技能が身に付いてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験したことを知識として定着させること。</li> </ul> <p>◎実験や観察で分かったことを、根拠を明らかにして考えたり、文章に表したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察において、一貫したノート指導を行う。</li> <li>・観察や実験の際は、観察して分かったことや実験を通して分かったことを毎回書き込むことを徹底させる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー演奏や器楽合奏に積極的に取り組むことができる。</li> <li>・楽曲を聴いて、旋律の特徴や、様々な演奏形態などによる曲想の変化を感じ取りながら聴くことができる。</li> </ul>	<p>◎曲の特徴を捉えた表現を工夫したり、どのように表現するのか思いや意図をもったりすることができない児童がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの楽器の音や副次的旋律を聴いて、拍の流れに乗って演奏することができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲分析の時間を取り、作者の思いや意図を理解する機会をもつ。その上で、自分がどのように表現したいのか、考えたり意見交換したりする経験を積ませる。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて授業に取り組み、楽しく制作活動や造形遊びに取り組める児童が多い。</li> <li>・自分の思いをもって伸び伸びと作品制作ができる児童が多い。</li> <li>・新しい表現や道具の使用に対して、とても意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>	<p>◎様々な既習事項を活かし、表現に工夫を凝らして作品づくりに取り組むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のこぎり等の刃物の正しい使い方のさらなる定着を図り、全員が安全に活動できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で、今まで使ってきた用具や材料を確かめながら、どのような表現ができるかを思い出し考えさせる機会を設ける。</li> <li>・新しい道具や画材に積極的に触れさせる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの領域にも意欲的に取り組む姿が見られる。また、技の定着や技の精度の向上のために、試行錯誤する姿勢が見られる。</li> <li>・みんなで協力することや、チーム競技を行う際の一人一人の役割という点について意識していくことができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の習得が早い児童と、技能を修得するのに時間を要する児童など、運動技能の習得に差が見られること。</li> </ul> <p>◎何を意識すれば技能がうまく身に付けられるのかを考えながら練習をすることに課題がある児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードに技能向上のポイントを図解して示し、カードを確認しながら活動できるようにする。</li> </ul>